



Consort Rias

コンソート・リアス演奏会
レクチャー&コンサート

復興 — 未来はここから始まった!

— 第 1 部 —

レクチャー

「歴史にみる西洋音楽と日本の出会い」

平川 新 宮城学院女子大学 学長 (日本史)

— 第 2 部 —

コンサート

「ことばと音楽 — 今、時空をこえて」

3.11復興支援企画 詩集「ありがとうの詩」の朗読と共に

ゲオルク・フィリップ・テレマン作曲

ドイツ・マニフィカート「私の魂は主をあがめる」

フランツ・ドップラー作曲

フルート二重奏曲 アンダンテとロンド Op.25

ヨハン・セバスチャン・バッハ作曲

ミサ曲 ト長調 BWV236

演奏

合唱&オーケストラ:コンソート・リアス
(Consort Rias)

指揮:四野見 和敏 チェンバロ:田原 さえ

2018年2月25日(日)

14:00 開演 (13:30開場)

エル・パーク仙台
ギャラリーホール

地下鉄: 仙台市営地下鉄南北線 勾当台公園駅下車
バス: 商工会議所前 または 定禅寺通市役所前下車



【チケット】大人2,500円 大学生1,500円 中高生1,000円

【主催】

コンソート・リアス

【後援】

(一般社団法人) アートフォーラムNOAN 音楽プロデュースMHKS

【助成】

(公財)仙台市市民文化事業団 (公財)宮城県文化振興財団

【プレイガイド】

ヤマハミュージックリテイリング仙台店 サンリツ楽器仙台本店
山野楽器仙台店2階管楽器フロア カワイミュージックショップ仙台

【お問い合わせ】

090-3982-4055 noan@vctokyo.jp

CONSORT RIAS

【プロフィール】

震災後、被災三県の若手音楽家で結成されたグループで、合唱とオーケストラが合体した団体。コンソート・リアスには地元や関東で活躍する、音楽大学や教育大学の学生や卒業生が所属している。2017年8月に石巻市において演奏会に出演し、好評を博した。音楽を通して、震災後の社会に貢献できる人材の育成を目的として設立された。リアスとは東北共有のリアス式海岸の意味。

【コンソート・リアスの設立経緯】

東北全体で連携して震災後の社会に貢献する人材育成の必要性から、「コンソート・リアス」を立ち上げた。音楽文化による復興は被災地単独では難しい状況となっている現在、被災三県の若い演奏家が県を超えて団結して演奏することは大きな意義がある。この団体を軸としてネットワークを形成し、東北の若者が一つ音楽団体としてにまとまり、その連帯感と結束力を生かして復興に貢献しようとするものである。被災地同士の若者たちがお互いを支援し合い、共働で一つの演奏会を創り上げるこの試みは、復興力を高め東北地方全体に広がる波及効果は大きい。若者たちが真剣に芸術に挑み、活力ある姿を見せてこそ、そこで暮らす人々が力強い未来を描ける。

コンソート・リアス発起人 指揮者 四野見和敏

コンソート・リアス (Consort RIAS) 出演メンバー

【合唱】

《ソプラノ》阿久津 巴 金田 秋果 島 三紀子 田村 美織 《アルト》植松 智穂 中野 蘭子 我妻 麻衣
《テノール》曾部 遼平 中野 奏保 《バス》荒井 涉吾 外崎 広弥

【オーケストラ】

《ヴァイオリン》田代 七葉美 高橋 茉莉奈 小塚 征良 郷家 由梨花 櫻田 里保 浅野 裕里香
《ヴィオラ》若生 胡桃 大柴 萌 《チェロ》佐々木 杜洋 《コントラバス》斎藤 理沙 《フルート》櫻田 朗歩 千葉 展子
《オーボエ》大淵 かねで 佐藤 貴洋 《チェンバロ》田原 さえ(ゲスト) 《ピアノ》楠田 由貴子

【指揮】四野見和敏

【レクチャー】



ひらかわ あらた
平川 新

宮城学院女子大学学長(日本史)

東北大学大学院文学研究科修士課程修了。宮城学院女子大学助教授を経て、東北大学東北アジア研究センター教授・センター長、同災害科学国際研究所の所長を経て、2014年4月より宮城学院女子大学学長に就任。東北大学名誉教授。文科省文化審議会専門部会委員、東北歴史博物館協議会会長、福岡県うきは市ふるさと大使、NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク理事長など、多くの役職を務める。

専門は江戸時代史研究。『紛争と世論』(東京大学出版会)や『開国への道』(小学館)、『通説を見直す』(清文堂)などで江戸時代論の見直しを提唱すると共に、豊臣秀吉・徳川家康・伊達政宗の外交についても研究している。災害から文化財を守る活動や、文理連携による災害研究にも取り組む。震災に関する編著として『東日本大震災を分析する』全2巻(明石書店)などがある。

【チェンバロ】



田原 さえ
ピアニスト

仙台市出身。武蔵野音楽大学・同大学院を経て、'90年ザルツブルグ・モーツアルテウム音楽大学修了、オーストリア政府芸術修士を取得。東京と仙台とでリサイタルを開催(15回)。また、ザルツブルグでのI.ハッセとのデュオ・リサイタルや、ベルリン弦楽四重奏団、P.L.グループとの共演など国際的にも活躍し、'08年6月にはブラハ放送交響楽団との協演も行った。公開レッスンなどでの通訳も数多くこなしている。

平成14年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。第2~6回仙台国際音楽コンクールではチャレンジャーズライブのコーディネーターをつとめ、仙台を中心に様々な音楽活動を展開している。'10年12月に初のソロCD『それは、懐かしい時の始まり』を、'13年6月には、P.L.グループ氏とのライブCD『コンチェルティノ』をリリース。現在、昭和音楽大学講師。仙台パッサゼミナール代表。MHKS音楽プロデューサー。宮城県芸術協会会員。

【指揮】



しのみ かずとし
四野見 和敏

石巻市出身。東京音楽大学卒業後、オーケストラ指揮をウィーン国立音楽大学指揮科教授カール・エステルライヒャー、1991年ウィーン・マイスタークラスの最優秀者終了コンサートでウィーン・プロアルテ・オーケストラを指揮。好評を博す。その後ハンブルク州立歌劇場合唱団のもとで数多くのオペラ合唱、さらにデトモルトで教会音楽の研鑽を積む。

帰国後、オーケストラ指揮者やオペラの副指揮者や合唱指揮者として

東京二期会、関西二期会などで数多くのオペラ作品の公演に携わり、成功へと導いている。東京シティ・フィルでは、飯守泰次郎氏のアシスタントを多く務める。

現在、「ヴォーカル・コンソート東京」指揮者並び音楽監督。

団員募集

一緒に演奏活動するオーケストラ団員、
合唱団員を募集中です。
お問い合わせ先:080-9637-0494(田村)

ご支援のお願い

団員は東北各地や関東圏にまたがっているため、仙台での練習では交通費や宿泊費を自費でまかっています。

自己負担を少しでも軽くしたいという理由から、皆様からの暖かいご支援(協賛、ご寄付等)を賜りますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先:(一般社団法人)アートフォーラムNOAN
noan@vctokyo.jp 090-3982-4055